

★ホクレア号
喜びの星がやってくる

スピリットの帰還

- ポリネシアから
ヤポネシアへ

ヤポネシアとは…

日本を太平洋の島與群の中に置いてみると、視線で、
メラネシア、ミクロネシアと同様、作家・島尾敏雄により、
「JAPONIA」(日本)と「NESIA」(島々)を結びつけた造語である。

トーク：内田正洋「去にし、ヤポネシアへ」

北山耕平「虹の教え」
—虹の子供たち(ポリネシアン)から
太陽の子供たち(ヤポネシアン)へ—

対談：内田正洋 × 北山耕平 × HALKO

「ホクレア号がつなぐ環太平洋の架け橋」

祈り：南ぬ風人まーちゃん

ライブ：HALKO・岡野弘幹・ノブトウマササネ
(友情出演)

問い合わせ・前売り予約先

ご予約は、お名前、住所、TEL、Mail、参加人数をお知らせください。

●ランド・アンド・ライフ
T/F 078-881-8163 landandlife@r6.dion.ne.jp

●one blood
T/F 06-6241-8357 info@oneblood.net

●モダナーク・ファーム・カフェ
Tel 078-391-3060 modernark@chronicle.co.jp (1.21予約係へ)

DESIGN&LAYOUT by WOOKIE

2007年 1月21日 日曜日

12:30 開場 1:00 開演 6:30 終演予定

場所 神戸メリケン波止場

TEN×TEN

最寄駅：地下鉄海岸線 みなと元町駅 1番出口 南へ徒歩2分
阪神西元町東出口、阪急花隈駅東出口 南へ徒歩5分
JR元町駅西出口、阪神元町駅西出口 南へ徒歩8分

参加費 前売 3,000円 当日 3,500円

大学生 2,000円 高校生以下 1,500円

●マイカップ・ひざ掛けなど暖のとれるものをお持ちください。

—ホクレア号—

古代の航海術を駆使して、

太平洋に散在する島々にたどり着き、

定住を始めたというポリネシア人起源・拡散説。

その科学的な立証を主な目的に建造された

古代式の航海カヌーが「ホクレア号」。

ハワイ語で、喜び(幸せ)の星(Hokule'a)と名づけられたこの航海カヌーは、

古代ポリネシア人がハワイ諸島を発見した当時の形状を模し、

天体を読み、波や風を感じ、海洋生物と語り合う、伝統的な航海術

—スター・ナビゲーションによって針路を決定する。

1976年のハワイからタヒチへの初航海以降、現在までの航路距離数は10万マイルを超える。

この30年間の航海の実績は、ハワイ社会の西洋化によって

忘れられかけていたポリネシアの文化とアイデンティティ復興の象徴ともなっている。

2007年1月6日ハワイを出航し、ミクロネシア各島に寄港した後、

4月1日沖縄に入港。そして、熊本・長崎・福岡・山口・広島・宇和島・横浜

を寄港地とする航海を予定している。

<http://www.gohawaii.jp/history/hokulea/hokulea01.html>



ホクレア号
喜びの星がやってくる

スピリットの帰還

- ポリネシアから
ヤポネシアへ

ヤボネシアとは、日本と太平洋の島々群の中には置いてある民族で、
メラネシア、ミクロネシアと同様、住民・島田牧族により、
JAPONIA(日本)とNESIA(島々)を結びつけた語である。

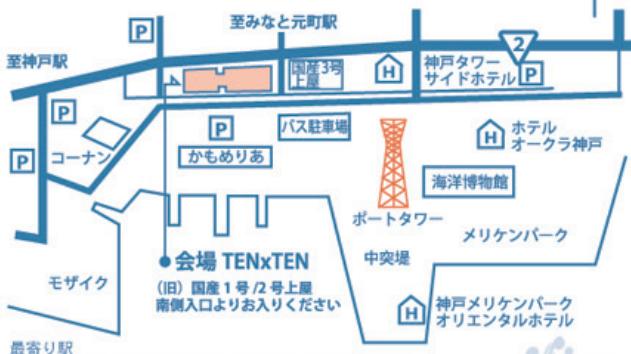
2007年 1月21日 日曜日

12:30 開場 1:00 開演 6:30 終演予定

場所 神戸メリケン波止場

TEN×TEN

神戸市中央区波止場町6-5
TEL 078-351-1335



会場 TEN×TEN
(旧) 国産1号/2号上屋
南側入口よりお入りください

※波止場 TEN×TEN 周辺は駐車禁止となっております。お車でお越しの際は周辺の駐車場にご駐車ください。

プロフィール

● 内田 正洋 Masahiro Uchida 海洋ジャーナリスト 1956年長崎県大村市生まれ 横須賀市在住

高校時代は花園に出場したラガーフットボール部でカッター部に所属。

卒業後、テレビの海外取材番組「キャラバン2」のドライバーとなったことがきっかけとなり、82年から10年間パリ・ダカールに参戦。

オートバイジャーナリストとして活躍するが、その後シーカヤックを専門とするジャーナリストとなる。

98年初来日したハワイの伝統航海術師ナノア・トンプソン氏を通じて「ホクレア号」と運命的に出会い、「ホクレア号」が日本に航海する意義を探索し続けてきた。

また、ハワイ人タイガー・エスペリが夢見た日本のカヌー、「カマ・ク・ラ号」(ポリネシア語で「開拓する子供」の意)の建造を目指し、模索の日々が続いている。祖母はカウアイ島の出身。

「去にし」とは、西の語源らしい。つまり西の方角は、去りしところ。昔の日本人が、西から東へ移動したことを伺わせる。

同じように琉球弁では、北をニシと言う。東はアガリ、西はイリ、南はヘー(フェー)とかバイとか…つまり琉球の人は北から来たんじゃないかという説があります。

内田 正洋

● 北山 耕平 Kohei Kitayama 作家、翻訳家、編集者 <http://www.native.way-nifty.com>

大学在学中から編集の仕事に携わる。'76より4年間をアメリカで過ごし、ネイティブ・アメリカンのメディシンマンとの出会いをきっかけに、

彼らの暮らしぶり、物語を日本の次の世代に伝え、日本列島のネイティブ・スピリットの根っこを探るワークを開始。

著書収録『自然のレッスン』『虹の戦士』『ジャンビングマウス』(太田出版)、『ネイティブマインド』『ネイティブタイム』『輝く星』(地湧社)、

『自然の教科書』『聖なる言の葉』(マープルトロン)、『ローリングサンダー』(平河出版社)、『レイムディア』(河出書房新社) 他

ばい かじとう

● 南ぬ風人 まーちゃん 沖縄県・西表(いりおもて)島星立村出身、本名 山下正雄 <http://www.painukaji.com>

『風人』(かじとう)の思いを込めたオリジナル曲や島唄を唄い、世代や民族のカバを乗り越えて、誰もが楽しめるライブを展開。島の伝統行事を受継ぎつつも、

2006年には10回目となる「砂浜芸能祭」を成功、自然と文化の「やまねこ学校」を開くなど、西表島らしさを追求する。

大阪には拠点として「風人の家」をつくりINGO風人ネットワークを主宰、「唄って踊って平和をつかめ」を合言葉に各地で『風人の祭』を開催している。

2005年5月、ディスク以外はすべて土に還るという画期的なCDアルバム「小さな花の種」を発売。世界で初めてとうもろこしからできたCDケースを使用する。

唄や踊り音楽で日本をハッピーにし、世界を平和にしていくことを企んでいる。<代表曲>「大地に帰ろう」・「パパイヤ」・「夢咲きほこれ」・「宝物」・「サバニをこいで」

● HALKO 桑名晴子 日本中をギター一本で旅する唄旅人 <http://www.funny.co.jp/halko/>

年間190本以上のライブのほか、各地の神社・仏閣などの聖域にて、数多くの奉納演奏を行う。2006年デビュー30周年を迎える、10年ぶりのCD『ONE』発売を記念し、全ての平和の祈りがひとつになる願いを込めて、雅内宗谷岬から駆け抜ける聖なる「日本縦断平和祈念こころの唄旅」を半年間で達成する。

「超古代ややまとの人々が、和をもって、超自然的に暮らしていたことを気付き思い出し、未来の子どもたちに、新しい平和な世界を築いていくよう、声高らかに唄っています。」HALKO

● 岡野 弘幹 Hiroki Okano 作曲家 音楽プロデューサー www.tenkoo.com/okanohiroki

1964年生まれ 87年よりソロ音楽活動を開始。世界の民族楽器、自然音、デジタルサウンドを融合し、自然界への敬畏や感謝を日本の感性で、清浄に、そして透明に表現した音楽が、ヨーロッパ・アメリカで高い評価を得る。音楽グループの活動では、91年民族楽器によるグローバルミュージック『風の楽団』、94年天空オーケストラを結成。RAINBOW 2000での細野晴臣氏との共演、フジロックフェスティバル1999、2002に出演。世界的規模の音楽祭グラストンベリーフェスティバルUKには8年間にわたり出演。

ポリネシアの伝統航海術を使って、

2007年4月にハワイから

ホクレア号一喜びの星が日本にやってきます。

環太平洋モンゴロイドとしてのスピリットを、

わたしたちが再び取り戻し、ひとつの輪になり、

これからの時代を創造していくための

大きな波がやってきていることを感じます。

そこで、このホクレア号来日プロジェクトに深く関わっておられる

日本でのシーカヤック第一人者で海洋ジャーナリストである内田正洋さんと、

ネイティブアメリカン関係の翻訳・著作を多数手がけていらっしゃる北山耕平さんを

トークゲストにお招きし、ホクレア号がヤボネシア・日本にもたらす意義について、

熱く語っていただきます。

音楽ゲストは、HALKO(桑名晴子)さん、岡野弘幹さん。

そして、西表島出身の歌い手・南ぬ風人まーちゃんに開会のお祈りを捧げていただきます。

—— みなさん、ぜひ神戸の波止場までお越しください。

参加費

前売 3,000円 当日 3,500円

大学生 2,000円 高校生以下 1,500円

マイカップ・ひざ掛けなど
暖のとれるものお持ちください。

プログラム

12:30～ 開場

1:00～ 開演 主催者挨拶 開会の祈り 南ぬ風人まーちゃん

1:30～2:30 内田正洋 トーク 「去にし、ヤボネシアへ」

2:45～3:15 HALKO ライブ

3:20～4:20 北山耕平 トーク 「虹の教え」 一虹の子供たち(ヤボネシア)から
太陽の子供たち(ヤボネシア)へ

4:45～5:45 トークライブ「ホクレア号がつなぐ環太平洋の架け橋」
対談:内田正洋 × HALKO × 北山耕平

5:50～6:20 岡野弘幹 ライブ (友情出演・ノブトウマサザネ)

6:20～6:30 終わりの挨拶、唄